

# たかくらっ子だより

発行責任者 渡辺 博明 発行日：令和3年6月30日

学校教育目標：自ら未来を拓き、共によりよく生きる子どもを育てる



HPのQRコード

## 授業参観及び学級懇談会、お世話になりました

6月25日(金)は、ご多用の中、授業参観にお越しいただきありがとうございました。今回は、全学級で「道徳科」を参観いただきました。子ども達は、いつもより少し緊張しているようにも見受けましたが、学年の発達段階に応じて、道徳的価値を自分事として考え、今までの自分をしっかり振り返っていたように思います。いかがだったでしょうか。



役割演技をとおして思いを伝える(2年)

また、授業についての感想も多くいただきましたので紹介させていただきます。前向きで温かなご意見に感謝いたします。子どもでも、みんな「よりよく生きたい」という願いをもっています。これからも「心を見つめ、自分を振り返る」そんな道徳科の時間を週に1回ずつしっかりと積み重ねていきます。

- いつもと異なる雰囲気にならざる様子が見られましたが、照れ隠しをしながらよく取り組んでいました。「気持ちを考える」すてきな時間になったと思います。(下学年)
- 恥ずかしがりながらも個人個人の意見を言えていて、仲のいいすてきなクラスだなと思いました。(下学年)
- 自分の気持ちを考えて、学んでいた授業だったと思います。今日の授業のことを自宅でも話し合いたいと思います。(下学年)
- 子どもが自分で考え、自分の意見を言ったり、書いたりしてよかったと思います。いつでも起こることなので、今日の授業のような場面があった時は、この道徳を思い出して子どもと話したいと思います。(下学年、上学年)
- 大人でも考えさせられる授業でした。どうしてもネガティブに考え、自己評価が低くなりがちですが、ポジティブに考えるには、見方を変えることも大切なんだなと思えた内容でした。(上学年)
- 自分の考えを伝えることをしっかりできたように思いました。(上学年)
- 一人一人意見を出し合っていていい授業だったと思います。(上学年)
- 周りの人とまたは各自で自分の考えや感じたことを伝え合っていました。周りの人と話し合っている時には、そういう意見もあるのかと気付く場面もあったように思えました。授業の進め方も教科書、大型モニターを使っていて、内容の共有が図れていました。(上学年)



また、その後の学級懇談会でもたいへんお世話になりました。

1学年の懇談会では、「ていねいな言葉遣いや敬語を身に付けさせたいが、コロナ禍で家にいることが多く、使わせる場や機会が少ない。」とのご意見がありました。確かに低学年は、いろいろな人との関わりや体験を通して覚える時期です。そこで、学校からは「国語科の音読発表など、他の学年の前で発表する場を増やし、ていねいな言葉遣いや敬語を身に付けさせていく」ことを具体案として示しました。



他学級でも貴重なご意見をいただいたと聞いておりますので、日々の教育活動によりよく反映させていきたいと考えます。ありがとうございました。